



THE対談

外谷明日翔×宇野詩乃

6月に入り、本格的な夏が始まりましたね。スタンプでは、川遊びや虫探しなどと、夏らしさ満載の活動が盛りだくさんになってきました！今回は、外谷と宇野がスタンプスクールでのお話をしていきます！

まず、簡単な自己紹介から。

外谷 皆さんこんにちは、スタンプ白ぼうし(年中)クラスの担任と、Do曜塾(年中)の担当をさせていただいてます、外谷あすかです。幼少期から、水泳・飛び込みなどと水に関わる競技や、絵画を習っていました。今でも絵を描くことが好きで、よく葉っぱや物に描いてほしいと、子どもたちからは少なからず人気で…自分で言うのもなんですが…。運動に関しては、今も元気いっぱい子どもたちと走り回ったり、体を動かしたりすることが大好きです！

宇野 こんにちは！スタンプ紫ぼうし(年長)クラス担任の宇野しのです。幼少期は自然いっぱいの中で、毎日水遊びにどろんこ遊び、木登り、虫探し、焚き火をし、そこで料理、秘密基地を作りました。お弁当は毎日外で食べ、遊ぶことが大好きな野生児でした！

外谷 新学年が始まり、はやくも3カ月が経ちました！

宇野 今年も、個性溢れる元気いっぱいの子供たちが多くて、本当に盛り上がってるね！

外谷 クラスごとにそれぞれ特色があって、今年も楽しみです！！

宇野 ところで、2歳の子供たちにはがんばりカードを、スクール(年少～年長)の子供たちには連絡帳を配っているよね。

外谷 スクールクラスでは、連絡帳のほかに、「Skillブック」というものがあります。今回は、そのSkillブックについて皆さんにご紹介しましょう。

宇野 Skillブックとは、年少から年長の3年間を通して使用し、色々なスキルを磨くための冊子です。例えばそんブック(右下写真参照)、スタンプでは年少からマラソンに取り組むのですが、距離や走った時間を記録に残し、3年間の成長を見える化しています。他にも、工作や川へのとびこみなど、できなかったことや、苦手だったことができるようになった過程を記録に残します。多くの幼稚園では、身体測定や手形などを記録すると思いますが、スタンプではそれらに加え、3年間で磨いたスキルが記録される、世界に一つだけの成長記録「Skillブック」となります。

外谷 Skillブックを始めて2年目となりますが、導入前と後と比べて、何か子供たちに変化はありましたか？

宇野 子どもたちに目標や自主性が生まれるようになったかな。というのも、Skillブックの項目の一つに、

「どろだんご」という縦割り授業があります。一つのクラスに、2歳から年長さんまでの子どもたちが集まって活動をするんだけど、異なる年齢の子どもから受ける影響は大きいみたい。

外谷 普段は会わない年上のお兄ちゃんやお姉ちゃんと活動することで、憧れが目標になったり、「自分もこうなりたい！」っていう理想が生まれたりしていますよね。年上の子どもたちにとっては、自ら年下の子の面倒を見たり、教えてあげたりと自主性が見えるようになりました。

宇野 去年は、縦割りの他にも、工作や川遊び、こま回しなどの項目があって、チャレンジ達成のために頑張って挑戦してくれていたね！

外谷 そうですね！ その中でも虫探しはとても人気で、スタンプがお休みの時も、家族みんなで取り組んでくれた子ども達もいました！

宇野 それだけ需要はあるということが実感できるね！春夏秋冬でSkillを磨く内容もあって、春は見つけた虫を記録に残し、夏には川がメインになった、川遊び編と川の生き物編で、どの学年でも挑戦しやすい内容になっています。秋・冬にも挑戦や記録を残すことが出来るので、色々な活用ができるね！

外谷 このように、Skillブックは様々な場面で活用ができ、スタンプスクールの年少・年中・年長の3年間を通じて、レベルアップすることが出来ます。

宇野 スタンプがお休みの時にも活用できるので、季節ごとの生き物や川遊び、キャンプなど、子どもたちと一緒にやってみてはいかがでしょうか！



写真上：Skillブック

写真左：
外谷あすか先生(左)
宇野しの先生(右)

かあ先生が

子どもの「今」を見つめる

「自信に変えられる先生」



「かあ先生、かあ先生！」

パープルさんの男の子が、少し興奮気味に話しかけてきました。

「かあ先生、小さい子12人……いました！」

「12人……！ありがとう！助かった！」

「……………（照れ笑い）」

こんな会話を交わしたのは2ヶ月前の4月。場所は天白公園。その時、かあ先生は35人の子ども達に囲まれていました。はじめてママから離れたばかりの子ども達と、進級した子ども達と一緒に遊んでいたのですが、その男の子は小さい子の人数を数えてくれたのです。

「かあ先生！俺たち、あの子を見張ってくる」

「見張る…？！わかった！頼んだよ！」

「はいっ！」

今度は別の男の子二人。自由に走り回る小さな子に対し、一定の距離を取りながら後を追っています。一気に距離を詰められても相手は嫌がりません。さすが、子ども同士。相手の気持ちが良くわかっています。

「かあ先生、これ（タンポポ）、この子の鞆に入れてあげても良い？」

小さい子の鞆に、摘んだばかりの花を入れようとする女の子。

ありがとう。君たちと一緒にいると学ぶことが多いなあ…。

年齢の違う子ども達と一緒に遊ぶ。1年を通して、何度か縦割り保育を行います。この活動を、スタンプでは「どろだんご」と言います。4月は、スクールバスに乗っている子ども達で遊ぶ「どろだんご」を行いました。

小さい子と仲良くしようとか、面倒を見てあげようとか特別な指導はしません。でも、子ども達は自然に自分で考えて行動しています。

最初、たくさんの泣き声に包まれていたスクールバスは、2ヶ月経って元気な声に変わりました。今度は川遊びを通して、「どろだんご」を行う予定です。とても楽しみです。

梶木が

思う！「遊び」と「学び」は一对！



「MEIKYOに通う子全員が、自分からすすんで勉強ができる、自主性のある子に育てほしい」。普段からこの思いをもって授業をしています。

授業中の子どもたちの様子を見てみると、自分からテキストを開いて勉強を進められる子と、指示が出るまで待っている子がいます。

ご家庭でも、「宿題をきなさい」と言われるまで、全く行動しないという悩みを抱えている親御さんは多いのではないのでしょうか。私自身も、子どもの頃は、「ご飯の前に宿題終わらせなさい。」と毎日のように言われていたので、「やらなければいけないけど行動に移せない」子どもたちの気持ちがよくわかります。

しかし、いざ一人の講師として教育に携わらせていただく中で、なかなか自分で始められない子どもたちの姿を見ると、つつい心配になってしまいます。バランスは難しいのですが、過干渉は子どもの自主性を奪う第一歩です。子どもが行動する前に、こちらから「～きなさい」と言えば、言われて行動を起こすことが習慣となり、自分で考え、判断をする機会が減ってしまいます。自主性を体験することが少ない子どもは、受け身になりがちで、新しい挑戦に対して臆病になってしまいます。

私自身も先回りをして、「～きなさい」と言いたくなりますが、少し余裕を持って見守るようにしています。どうしても気になるときは「～きなさい」ではなく、「～した方がいいと思うな」「～した方が〇〇くんのためになるんじゃないかな」と声を掛けるようにしています。強制するのではなく、選択肢を与えることで、子どもは自分で考え、行動をとるようになります。その行動が招く結果がうまくいけば、今後も同じような行動をとり、うまくいかなければ、同じことを繰り返さないように自ら考え、行動をとるようになります。自ら思考し得た成功体験は、子どもたちにとっての自信となり、新たな挑戦へのきっかけとなります。MEIKYOでは時間をかけながら子どもたちの自主性を育てていきます。

小原

が遊びで育む ココロとカラダ



「失敗は成功のもと」

先日、小学生の保護者様から、嬉しいお話をいただきました。年長さんの頃からやり始めた競技で、ついに日本一になったそうです！

その生徒さんは、年中、年長と担任をさせてもらった子で、当時は人前に出たり、注目を浴びたりと緊張してしまう子でした。そんな子が、優勝のインタビューでは、たくさんの人が見守る中、堂々として答える姿がありました。その姿は自信に満ち溢れて、とても輝いていました。素晴らしい形で成長した姿を見せてくれました！

その話の中で、その保護者様がおっしゃってくださったことが、非常に印象的でした。それは、スタンプに通っていたから、「考える力がついた」ということでした。具体的には、以前の失敗を次に活かすことができた、とのことで、それを聞いて非常に嬉しく感じました。

スタンプでは【いきいき、のびのび、でっかい子】という理念のもと、生きる力を育てようと考えております。自然の中で遊ぶということは、自分で考えないと楽しく遊ぶことはできません。公園などとは違い、分かりやすい遊具や簡単に遊べるアイテムはありません。木や葉っぱ、真っ直ぐ歩くだけでも困難な道があるばかり。スタンプの園庭ですら平ではありません。そのような環境の中で育った子ども達は、それらの経験から、数々の状況に対応できる判断力を養うことができます。

しかし、その段階にたどり着くのも、決して簡単ではなく、数々のチャレンジをする必要があります。今回の生徒さんも、たくさんの苦手を経験し、乗り越えてきました。スタンプでは、自然の中で楽しく、思い切り遊ぶことで、経験を積み、柔軟な発想ができる子ども達を育てていきたいと思っています。

たくさん子ども達と接していると、新しい事にチャレンジするのが苦手、失敗が怖いという子がいます。スタンプでは、そんな苦意識を持った子ども達にも、じっくり向き合せて、チャレンジし、成長できる環境を整えています。失敗は成功のもと！失敗やチャレンジを思いっきりできる今だからこそ、いっぱい遊んでいきましょう！Let's GO！

お知らせ



今回は、スタンプ小学校より、会員の皆様へお知らせです！

スタンプ小学校のプログラムで、毎週水曜日に活動中の「スタTube」というプログラムより
YouTubにて、新たなチャンネルが開設されました！

初回の動画は、スタTubeメンバーの自己紹介動画となります。

今後も、スタンプ小学校で見つけた子どもたちの「好き」やスタンプ小学校ならではの活動を配信予定です！

是非チャンネル登録をして、お待ちください！

☆下記のURLから視聴可能です☆



「スタTube」やその他プログラム募集中です！
ご質問等ありましたら、お問い合わせください。